

九州電力グループ中期経営方針

2016年4月より電力システム改革に伴う小売全面自由化がスタートし、本格的な競争時代を迎えています。

こうした競争環境下においても、「ずっと先まで、明るくしたい。」をブランドメッセージとする「九州電力の思い」を実現し、お客さまから信頼され、選ばれ続けるためには、九電グループ一体となった変革を加速させていく必要があることから、2015～2019年度の5か年を対象とする中期経営方針を策定し、これに取り組んでいます。

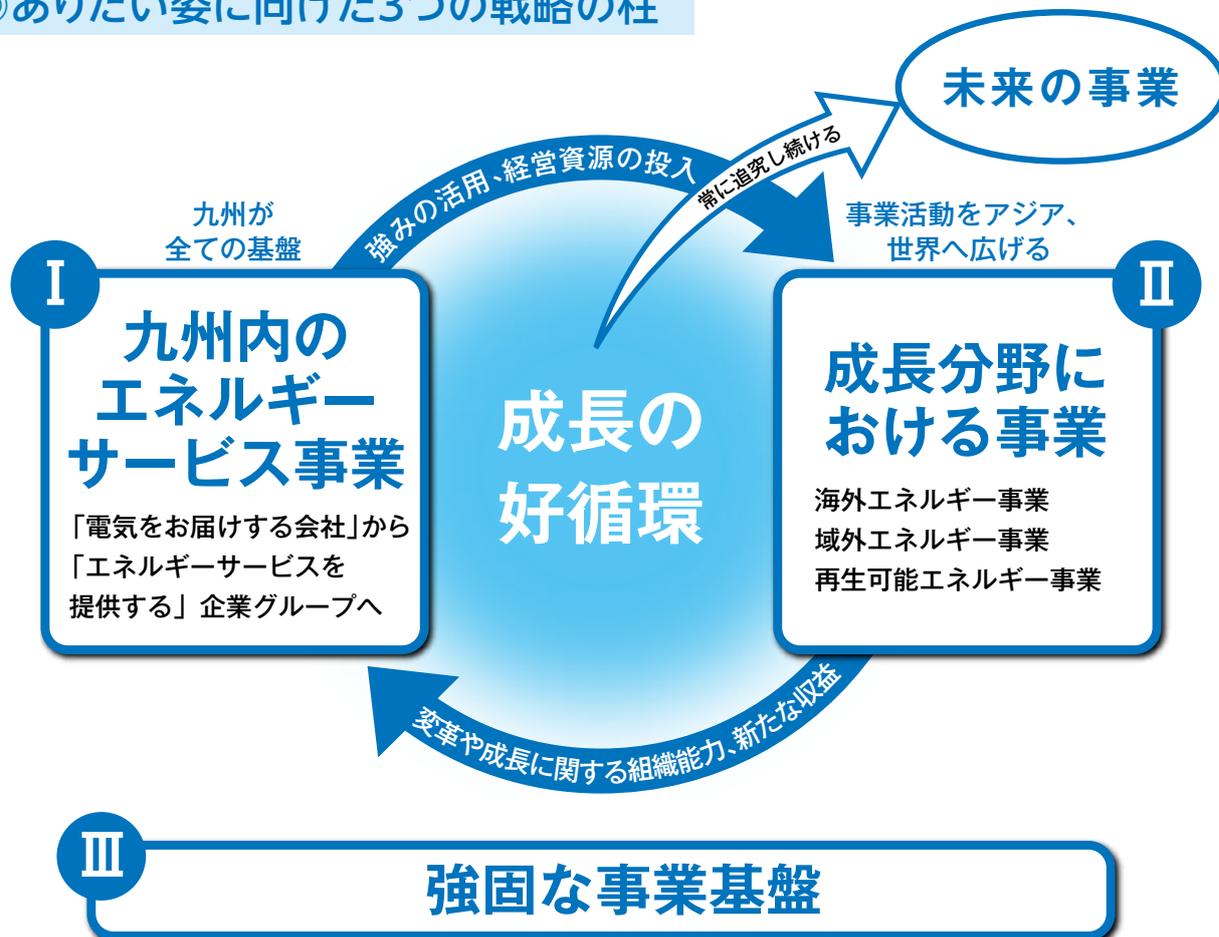
Vision

2030年のありたい姿

「日本一のエネルギーサービス」を提供する企業グループ
 ～やっぱり！エネルギーは九電グループ～

Strategy

◎ありたい姿に向けた3つの戦略の柱



◎足元5か年における重点的な取組み

I 九州のお客さまのエネルギーに関する様々な思いにお応えします

1. 「多様なエネルギーサービス」の提供による九電ファンの拡大
2. 電源の競争力と燃料調達力の強化
3. 送配電ネットワーク技術の向上と活用

II 九電グループの強みを活かして、成長市場で発展していきます

1. 海外電気事業の強化
2. 九州域外における電気事業の展開
3. 再生可能エネルギー事業の拡大

III 成長事業の目標

	現 状		2030年
海外発電事業持分出力 ^{※1}	150万kW	+350万kW →	500万kW
九州域外電源開発量	-	+200万kW →	200万kW
再生可能エネルギー開発量	150万kW	+250万kW ^{※2} →	400万kW

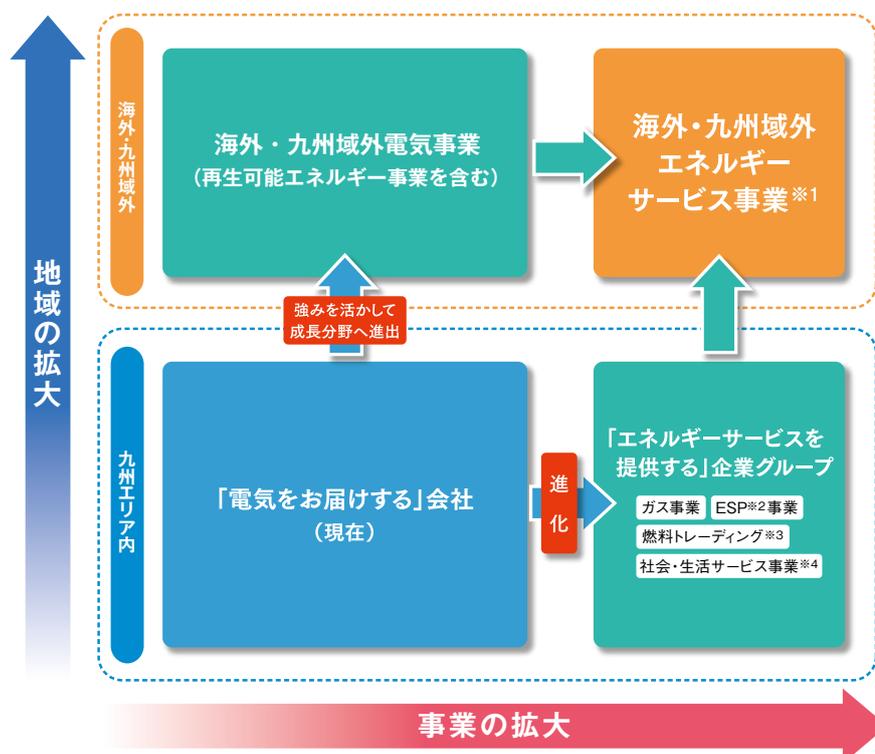
※1 各プロジェクトの発電設備出力に、当社グループの出資比率を乗じたもの

※2 [内訳] 国内外で、地熱+80万kW、水力+20万kW、風力+110万kW、その他+40万kW

III 強固な事業基盤を築きます

1. 変革・挑戦する人づくり
2. スピード感をもって変化に対応できる組織づくり
3. 九電グループ一体となった財務基盤・競争力強化
4. 安全・安心の追求
5. CSR(企業の社会的責任)経営の徹底

◎事業領域拡大のイメージ



※1 海外・九州域外については、当面は強みである「高い保守運用技術」を発揮可能な電気事業を中心に展開。エネルギーサービス事業についても可能なものから実施

※2 Energy Service Providerの略。企業等のエネルギー関連業務を一括して請け負う事業者

※3 従来のように燃料の購入を行うだけでなく、購入・販売の両方を行う取引

※4 エネルギーサービス事業との関係性やシナジーを勘案